

プロダクトガバナンスに関する方針

2025 年 6 月現在

UBS アセット・マネジメント株式会社

当社は、「顧客本位の業務運営を確立するための取り組み方針」のもと、以下の通り、「プロダクトガバナンスに関する方針」を定めます。

1. 基本理念

当社は、「企業としての原則(Principles)」において、「顧客中心主義」を第一に掲げ、お客様との間で長きに亘る信頼関係を築くこと、それこそが当社が最も重視することです。

そして、UBS グループの長い歴史と伝統に裏付けられた質の高い資産運用サービスをお客様にお届けすることが、当社の責務でありまた経営を持続可能なものとするために不可欠であるという意識を全役職員で共有しています。

この質の高い金融商品をお客様に提供し続けるために、経営陣のリーダーシップの下、「プロダクトガバナンスに関する方針」を定め、徹底してまいります。

2. プロダクトガバナンス体制の整備

当社は、プロダクトガバナンスの実効性を確保すべく、組成(Plan)、提供(Do)、管理(See)の各プロセスにおいて委員会・会議等の体制を整備しています。

(別紙「UBS アセット・マネジメントにおけるプロダクトガバナンス体制」参照)

各委員会・会議における検討、審議、決定、実行、検証状況に関しては経営委員会に報告され、経営委員会は必要に応じて各委員会・会議に提言や指示を行います。経営委員会は、定期的に取り締役会へ報告を行い、必要に応じて、プロダクトガバナンス体制の見直しを検討します。

3. 金融商品の組成時の対応

当社は、金融商品の組成にあたり、「企画検討段階」と「商品提案直前」の二段階でお客様にふさわしいサービスの提供を行うべく、次のような取り組みをしています。

- 企画検討段階: 商品を提案する前の企画検討段階では、資産運用の専門家として推奨できる質の高い商品群を基礎に、営業部門を中心にお客様のニーズを広く調査します。それらの情報を関係部門と共有した上で、運用商品の持続的な提供について深く考察します。
- 商品提案直前: 最終的な商品提案の前には、全部門が参加する、業務承認会議においてその適切性等を審査します。

4. 金融商品の組成後の対応

当社は、金融商品の組成後において、商品の組成時に想定していた商品性が確保されているかを継続的に検証し、その結果を金融商品の改善や見直しにつなげるとともに、必要に応じて商品組成・提供・管理のプロセスを含めたプロダクトガバナンスの体制全体の見直しにも活用すべく、次のような取り組みをしています。

- プロダクトレビュー会議を定期的に行い、商品の継続性および顧客適合性等を確認します。
- リスク委員会を月次で開催し、商品の運用状況の確認及び改善策等の審議を継続します。
- 運用の外部委託を行う場合、外部委託先における運用についても検証の対象とします。

また、販売会社と相互に情報連携を行い、組成時の想定顧客属性と実態との検証を通じて、販売会社とともにより良い金融商品の提供を推進してまいります。

5. 顧客に対する分かりやすい情報提供

当社は、お客さまがより良い金融商品を選択できるよう、常に客観的な視点を失わず、難解な表現を避け、見やすさや適時性を評価し、運用体制やプロダクトガバナンス体制等について、分かりやすい情報提供に努めます。

以上

(別紙)

UBSアセット・マネジメントにおけるプロダクトガバナンス体制

